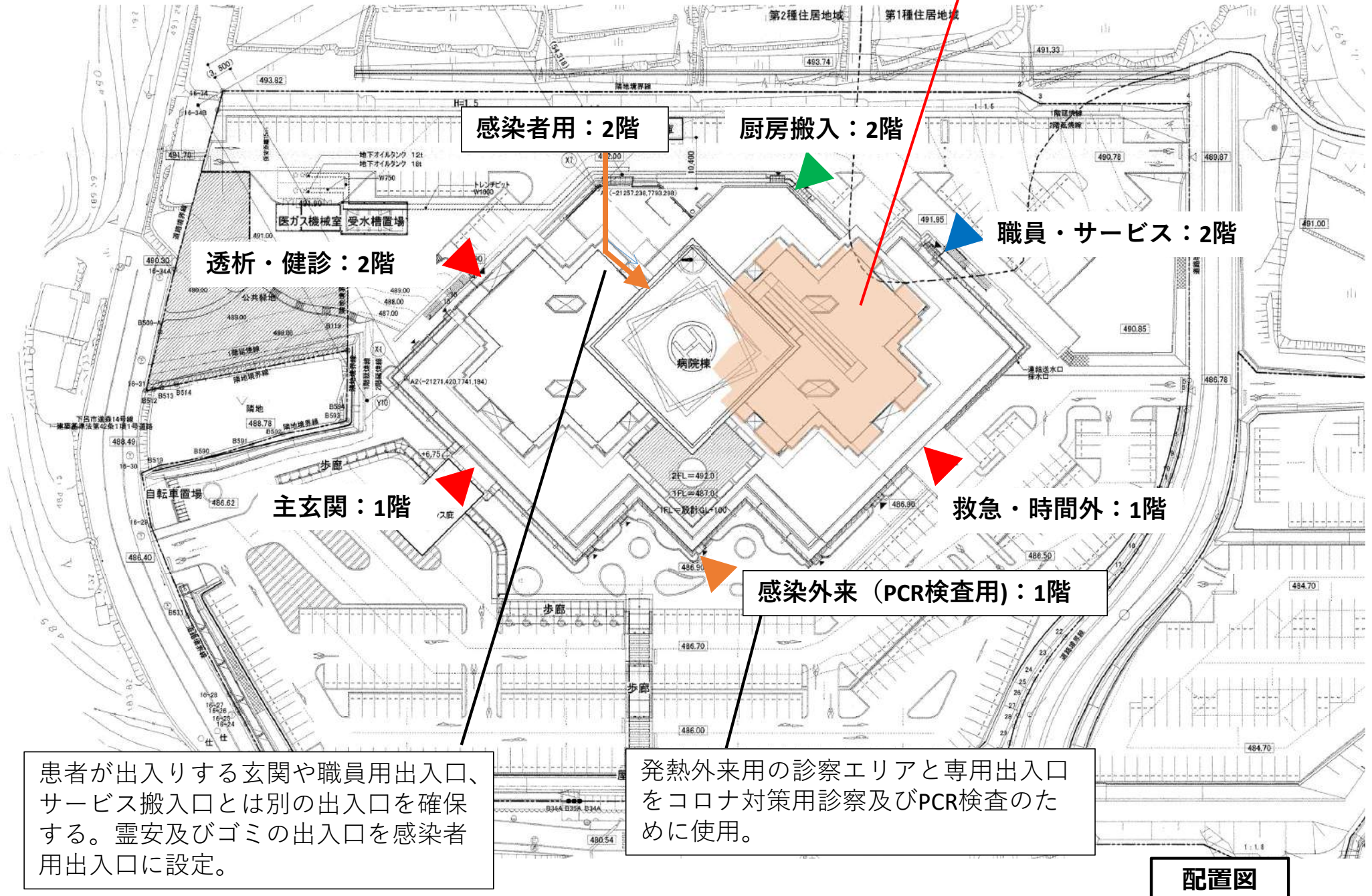


COVID-19 対策情報 No. 045	地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院				
	－(指定なし)	新型コロナウイルス感染症指定医療機関等	病床数	206	床
	なし	新型コロナウイルス感染患者受け入れ実績			
	有	病室陰圧化対応			
	有	専用病棟化対応（準備している）			
	有	院内区画対応			
	－	院外区画対応			
所在地	岐阜県下呂市森2211				
敷地面積	25506.35 m ²				
延床面積	19605.17 m ²				
構造	RC造、一部PC造/免震				
指定・届出等					
設計者	株式会社 安井建築設計事務所、株式会社 熊谷設計				
施工者（建築）	岐建 株式会社、株式会社 市川工務店、株式会社 中島工務店、飛驒建設 株式会社				
補足事項	情報シート集2015掲載				
経緯	・ 飛驒圏域内及び他圏域の陽性患者（いずれも軽症患者を想定）の受け入れ対応として、新型コロナウイルス専用病棟の設置・準備を行なっている。				
病室陰圧化対応	・ 全室個室となっており、各個室の給排気のうち、給気側ダクトを絞り込むことで病室の陰圧化を図る計画としている。				
専用病棟化対応	・ 1病棟を新型コロナウイルス専用病棟とするよう準備している。				
院内区画対応	・ 2台ある患者搬送用エレベーターの1基を新型コロナウイルス専用とすることで専用経路を確保している。				
院外区画対応	・ 患者の出入りがないスタッフサービス用出入口を専用出入りとし、他の出入口から距離を置いた形状としている。				
追記事項等	・ 図面等 ・ 1階感染用診察エリアにてPCR検査、数十件実施しているがすべて陰性。今のところ県からの要請もなく、圏域内においても陽性患者は発生していないため、予定している病棟は通常運用をしている。				
情報提供日	2020/5/12 ※本情報は情報提供日時点でのものであり、その後変更となっている可能性があります。				
整理番号：			JIHaHP掲載日	2020/XX/XX	

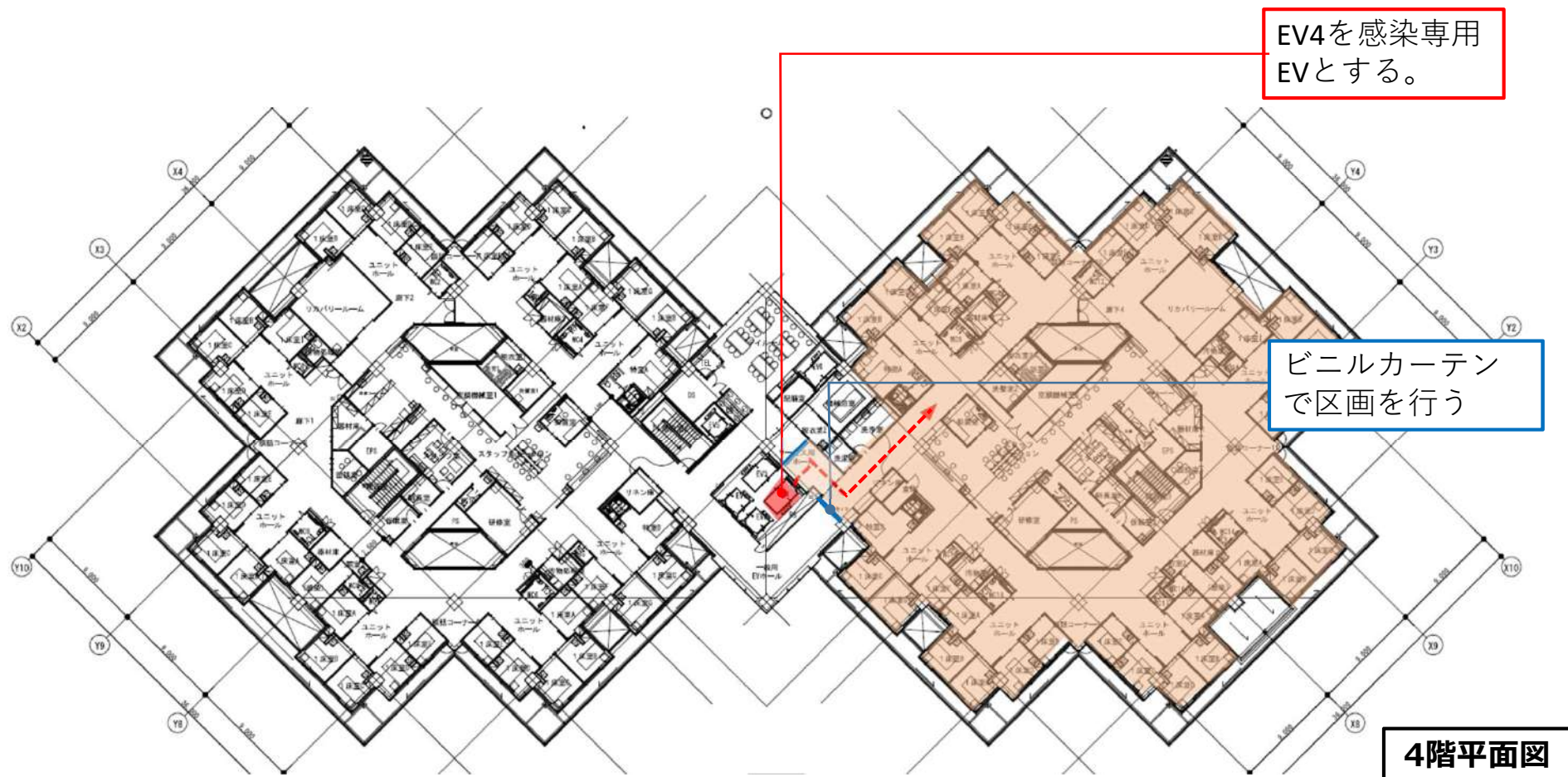
東4病棟を新型コロナ感染症対応の病棟とする。





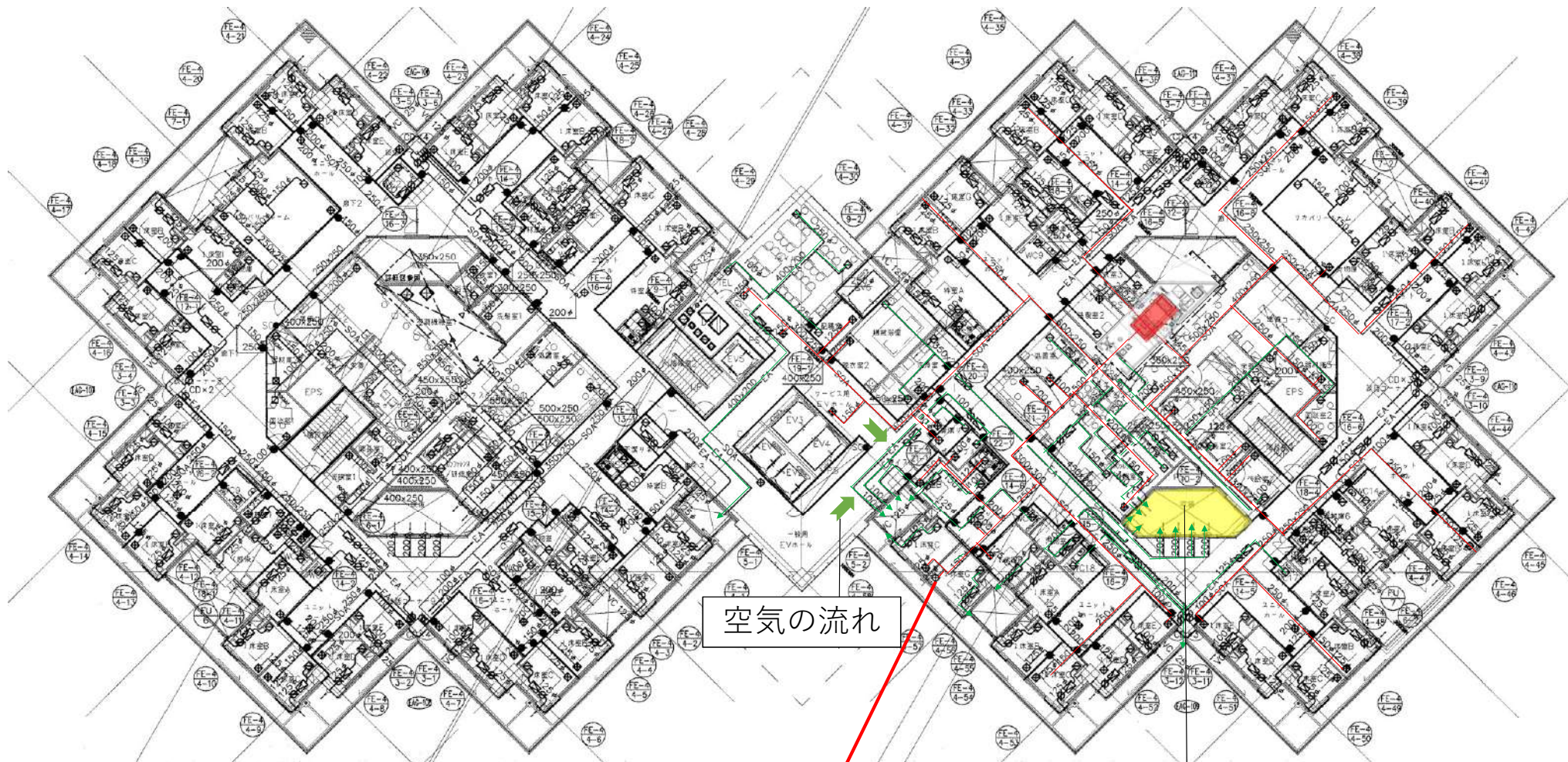
東4病棟の外調機は食堂・EVホール、機械浴室にも空気を供給している。そのため、東4病棟の外調機は空気が食堂に逆流しないように24時間稼働させる

換気ダクト系統図

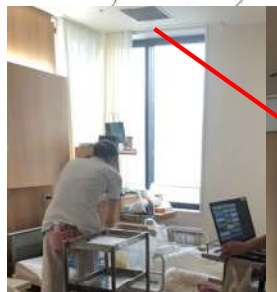


■設備計画について

- ・病棟の空調は各階、東西で給排気は別系統。
- ・1つの病棟を感染症病棟として利用する場合、共用廊下の東西を物理的にビニルシート等で分断し、人の動きによる廊下でのコンタミネーションの可能性を低減。
- ・病室への給気量を絞ることで緩やかにスタッフステーションよりも病室側が陰圧となり、感染リスクは低減される。東4病棟全体の給気量も減るので、西4病棟への空気流入のリスクは減る。



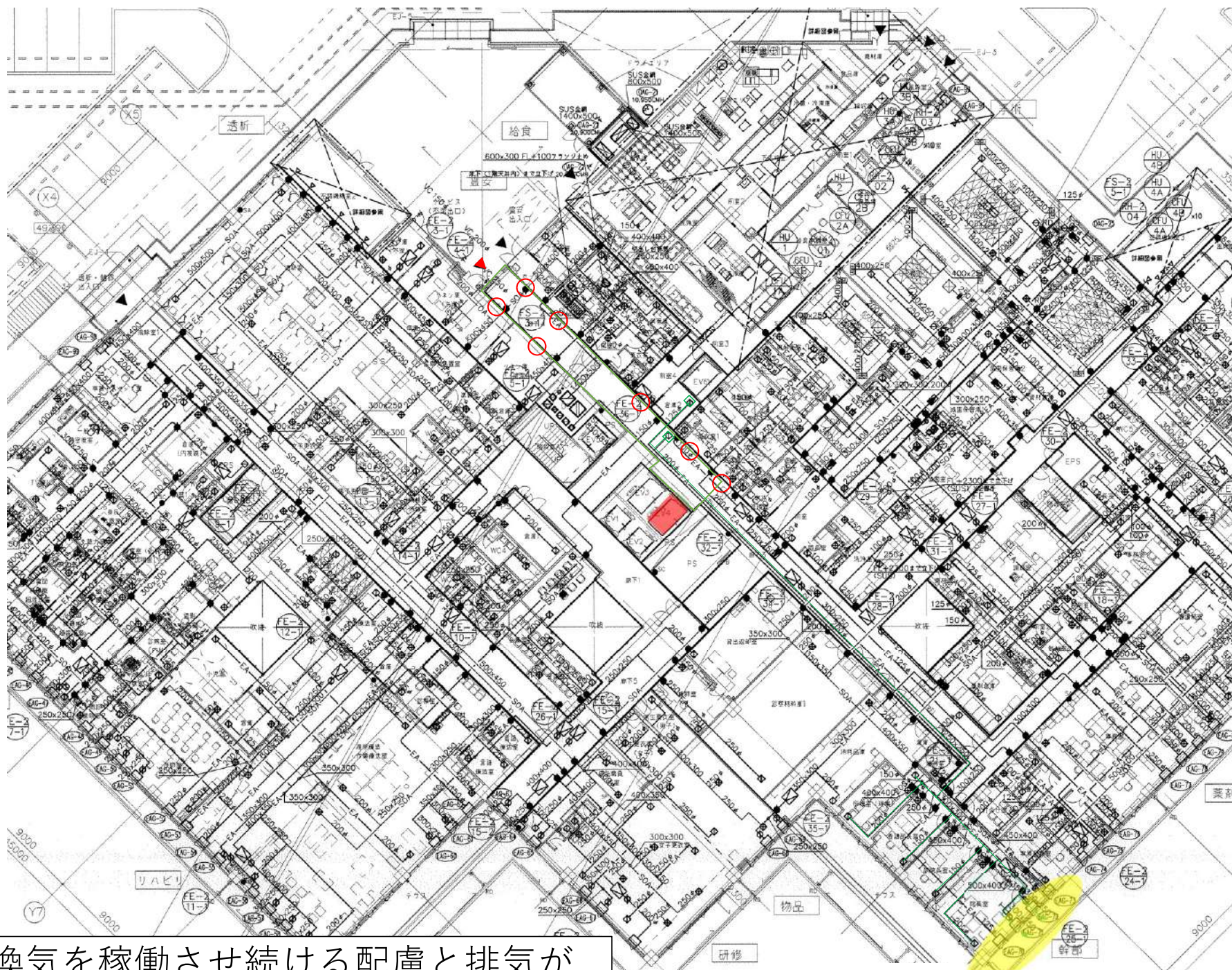
こちらの中庭に病棟の排気が排出されている。3階、5階の病棟で窓を開けない。



病室の給気ダクトを絞り込むことで、病室を陰圧にする。

- SOA : 外調機外気
- EA : 排気
- 外調機

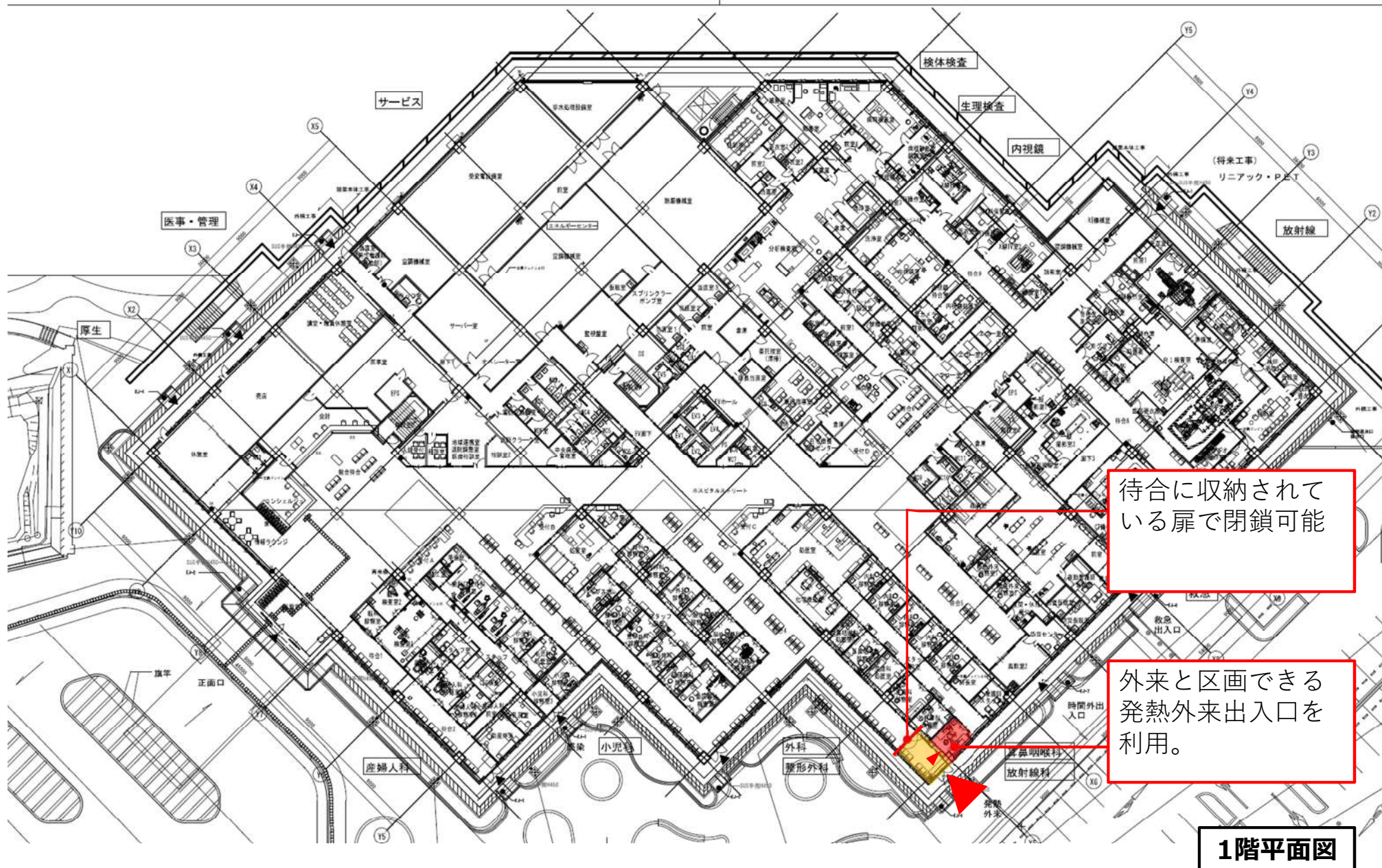
4階換気ダクト平面図



換気を稼働させ続ける配慮と排気がある外壁の窓を開けない配慮が必要

- 搬入経路に面した扉
- EA: 排気
- 搬送EV

2階換気ダクト平面図



- ・ 外来での対応（PCR検査等）が必要な場合、時間外出入口の西側にある発熱外来の出入口を利用。待合に収納されている扉を閉鎖することで、他の患者と待合スペースを分離する運用が可能。